

## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2016. 12  
No.280

今回は、先日行われた品質大会でお願いしたことをもう一度皆様にお伝えします。

### TPMと品質

TPMとは「トータル・プラント・マネジメント」の略で、イナテックではこのTPMを経営の手段（ツール）として活用しています。

ではなぜ「TPM大会」ではなく、「品質大会」なのか、との問いにお答えします。

『品質』は、TPMがベースになっているという事です。

TPMの目的は、

- ・製造設備に強い人づくり
  - ・製品に強い人づくり
- です。

そして、イナテックの特色は間接の人も含め、「製造設備に・製品に強い人」になってください、ということなのです。

### 故障は諸悪の根源

「故障」とは、「故意」に「障害」を起こすことです。設備は決して勝手には壊れません。故障は「人」が発生させているのです。

報告で「社長、機械が壊れました」「機械が故障しました」と言われるのですが、「故障」の約90%は「強制劣化」です。『自然劣化(寿命)』は10%弱しかありません。

ですから「故障、故障」と皆さんが言っているのは、強制劣化なのです。製造設備に強くなければ、機械故障はゼロになるのです。

機械故障という「変化点」がなくなれば、監督者の方々の負担が軽減され、お客様に「高品質の製品」が効率的に提供できるわけです。

他にも「変化点」は、故障による異常処置、忙しくて日常管理ができなくなる、教育記録がないまま作業に従事してしまう、などが挙げられます。これらが「ロス」の塊になって、結果

としてお客様に品質不良という形で「迷惑を掛けてしまうわけです。

### 目指そう！『相互啓発型』で

#### お客様品質不良ゼロ

今回ある部品でお客様にご迷惑をお掛けしましたが、各部署がもう少しTPMの目的である「製造設備に・製品に強く」なると、「相互啓発型」であれば、不良が流出しなかった案件です。検査部署は製造に報告したままフォローがありませんでした。

イナテックの企業理念でお願いしているのは「フェイス TO フェイス」「ハート TO ハート」が基本です。「見て見ぬふりのイナテックは会社が潰れます」と毎回お話ししています。

デューボン社が示している「相互啓発型」とは、まさしくイナテックの企業理念そのものだと思えます。

イナテックの「フェイス TO フェイス」「ハート TO ハート」は、

1. 仲間に対する働きかけ
2. 仲間との相互注意

3. 仲間への思いやり
  4. 積極的な情報の共有化
  5. 他人に対するケア
  6. 組織に対する誇り
- に置き換えられます。
- 私のいつもの言葉で言わせていただくと、「仲良くクラブ」ではなく「仲良く喧嘩」することなのです。

### クリアコミュニケーション

この「相互啓発」の手段として大切なのは、クリアコミュニケーションです。

「クリアコミュニケーション」とは、『事実に即した適切な(文書)表現のこと』つまり、なるべく具体的な数値で伝達できることなのです。

例えば、「暑い・寒い、ちよつと大きい、少しビビっている、もう少し早く、このくらい時間で、月末まで、その日にやります、・・・」などです。

日本人にとっては、「あいまいで」使いやすい表現なのですが、ビジネスの世界ではクリアコミュニケーションを使うべきです。そして、クリアコミュニ

ケーションで相互啓発しましょう。これが「フェイス TO フェイス」「ハート TO ハート」なのです。

2017年はイナテックの使命である「人づくりを通して、お客様に100%良品をお届けする」を必達しようではありませんか。

我が社なら必ずできます。

「ご家族の皆様へ」

本年もご協力ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

### 四二

此身常放閑處、榮辱得失、誰能差遣我。此心常安靜中、是非利害、誰能隔昧我。

此の身を、常に物にとらわれない余裕のある立場に放しておけば、世上の榮辱や得失をもって、たれがわたしの身を遣いやることができようぞ。また、此の心を、常に事に乱されない静かな境地に安んじるようにしておけば、世上の是非や利害をもって、たれがわたしの心をだましくらすことができようぞ。



## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2016. 11  
No.279

### “TPM優秀継続賞”へ挑戦

TPM優秀継続賞の受賞までには、まず12月8日のTPM診断があり、来年3月に第一次審査、9月に第二次審査が実施されます。

今回のTPM優秀継続賞の大きな特色は、イナテックの会社方針をTPMの手法を使い展開するというものです。イナテックの会社方針展開とTPM活動は決して別物ではなく、TPMそのものが会社方針と同期化され、よりスリムで強靱な企業体質を作ることなのです。

つまり、山田先生や矢野先生の指導、業務報告会やアメリカ経営も同じ目的のためにやっていることです。

皆さん、一度頭の中を整理して、今回の受賞をチャンスと捉え、リセットしようではありません

んか、少しでも皆さんの負担を減らし、改革に集中できるようにしてまいります。

### 2016年度中間業務報告会

10月24日から25日にかけて、業務報告会で皆さんの仕事のフォローをさせて頂きました。ありがとうございました。

皆さん、大変頑張っていました。得意先不良も工程内不良も機械故障件数も減っています。2016年度後半は「機械故障だけに絞って、全員で改善しよう」とお願いさせていただきました。もちろん、それ以外の項目の監視は必要です。

そして次の問題は、間接（製造・販管）の人員が多すぎて、利益を圧迫しているということです。他社と比較しても群を抜いて悪化しています。経営体質の大原則は、「売上高伸び率V人員増加率」です。売上が伸びておらず、なおかつ利益が低下している中で人員を増やすことは絶対にやっちゃいけないことなので、仕事の見直し（仕事の整理・整頓）をしてください。

機械故障が減少すれば、稼働率（生産性）が

向上します。生産性が向上すれば、残業時間が減ります。そして、変化点がなくなれば、工程内不良も減少しますし、お客様での不良も必ず低減します。

2016年度後半は機械故障50%低減を達成しましょう。

### 日本語教育が国際人材を育てる

グローバル社会で活躍する上で重要な資質は、論理的な思考力や洞察力、豊富な想像力であり、それらは主に母国語によって培われるものである。また幼少期から青年期は言葉を通じて個人のアイデンティティが形成される重要な時期でもある。したがって、初等教育では正しい日本語の読み書きをしっかりと学び、そして日本語で物事を論理的に考え、伝える能力を養うことが先決だと考える。

英語教育を推進する前に、むしろ日本語による基礎教育を充実させるべきだと思う。

（10月21日付 日本経済新聞）

「私見卓見」より抜粋

今では幼少の頃から、またはバイリンガルに育てようと、英語で日常生活を送っている家族もいらつしやるようですが、やはり母国語をしっかりとマスターすることが筋理であり、絶対条件ではないでしょうか。

### 学びが人間を創る

日本の書店の多さは世界一です。日本文化の根幹にあるものは活字文化である、とさえ断言できるほどです。ですが、その文化の在り方に陰りが出てきているのです。

書店の大部分の書棚を占め、売れ行きの中心となっているものは、コミック、雑誌、いわゆる「軽チャー」が幅をきかせ、活字に溢れたいわゆる「書籍」が駆逐されつつあるのです。

再末期、アジアの多くが西欧列強の植民地攻勢に蚕食（さんしょく）される中で、なぜ日本だけが明治維新を成し遂げ独立を守ることができたのか。

その核心は、一般庶民の民度が高かったからだった、というのはいまや定説です。

高い民度、それは具体的には識字率の高さで

ある、ということができます。

それを支えたのが江戸時代に全国に広がった寺小屋であったことは確かです。全国津々浦々で文字に接する機会があり、文字を読み楽しみ、喜び、感動が日本人の感性を養い、民度を高め、それが力になったのです。まさに、日本文化の核心ここにあり、です。

イギリスの前首相ブレア氏も「7歳の児童たちの読書量が将来の世界における英国の位置そのものである」と発言しています。

鉄は熱いうちに打て、です。活字を読む楽しさ、喜び感動を次の世代を担う子たちに是非ともつないでいく必要があります。

（「生き方のセオリー（藤尾 秀昭著）」

より一部抜粋）

### 四一

出世之道、即在涉世中、不必絶人以逃世。了心之功、即在盡心内、不必絶欲以灰心。

俗世間を超越する方法は、この俗世間を渡る生活そのものの中にあるのであって、かならずしも世人とまじわりを絶って山林に隠れる必要はない。また、見性悟道の工夫は、この自己の本心をきわめ尽くすことその中にあるのであって、かならずしも欲を絶ち心を死灰にする必要はない。

まさしく、前述の「日本語教育が国際人材を育てる」に通じるところが大だと思えます。

イナテックも「致知」という素晴らしい雑誌に出会い、毎週木鶏会を開催しています。この木鶏同好会を通して、人間味あふれる「フエイスト・フエイスト、ハート・ハート」の相互啓発型の企業をめざし、明るく、元気なイナテックにしたいと思っております。

日本語を大切に、日本文化を大切に次世代に引き継ぎ、世界のリーダーたる日本にせねばならないと思っております。



## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2016. 10  
No.278

### 第一、腰骨を立てる

### 第二、丹田に力を込める

### 第三、長い息をする

これは、臨済宗円覚寺派管長の横田南嶺さんが書いた『人生を照らす禅の言葉』(致知出版社)の巻頭に出てきた言葉です。

私が企業理念講話で「イナテック社員の心得」として、一番初めにお話していることでもあります。この本で横田管長が明解に記されていますので、紹介させていただきます。

#### 一、腰骨を立てよう

森信三先生は、「もし、しっかりした人間になるうと思つたら、まず二六時中腰骨をシャンと

立てることです。心というものは目に見えないから、まず見える体の上で押さえてかからねばならぬのです」と教えてくださっています。

また

「常に腰骨をシャンと立てること、これ性根の入った人間になる極秘伝なり」

「腰骨を立てることはエネルギーの不尽の源泉を貯えることである。この一事を我子にしつけ得たら、親として我が子への最大の贈り物といつてよい」

とも仰せです。

腰骨を立てることを端的に「立腰」と申します。立腰の要領は次の三つなのです。

第一にまず尻をウンと後ろに引き、

第二に腰骨の中心を前へウンと突出し、

第三に軽くあごを引いて下腹にやや力を収める

のです。

また、腰骨を立てているとどんな良いことがあるかという点、立腰功徳して、

一、やる気が起る

二、集中力が出る

三、持続力がつく

四、頭脳がさえる

五、勉強が楽しくなる

など、いいこと尽くめなのです。

#### 一、丹田に力を込めよう

腰骨をシャンと立てて、下腹(丹田)に気力を込めて、ゆつくりと息をします。そこで、ころが落ち着いてきます。ころが落ち着いてこそ、初めてありのままの様子が見えてきます。それが智慧です。

(中略)

よく考え事をしている時の姿勢を思い浮かべてみると如何でしょうか。腰が曲がって、背中を丸めて、アゴに手を当てて「思索投げ首」になっているのではないのでしょうか。姿勢が悪くなるとバランスが悪くなりますので、かえって余計な力が必要になって、疲れやすくなります。そうなる、さらに集中力が低下してイライラしたりします。

(中略)

考える事は大事なことでありますが、考え過ぎは良くありません。頭に上った血を下げるには、お腹に力を込めることが有効です。古来東洋では、下腹を元気の源として「丹田」と称しました。

—三、長い息をしよう—

大事なことは、腰骨を立てる、丹田に力を込める、長い息をすることの三つだと申し上げています。

腰骨を立ててゆっくり呼吸していると、自ずと微笑むような仏像のような表情になってきます。それは本来持つて生まれた仏心が表れてきている証拠です。

(中略)

イライラしたり、カッとなつてはろくな判断はできない、まずは腰骨を立てて、お腹に力を込めて、ゆっくり息を吐いてから、考えましようと言っています。さつとよい智慧が浮びます。そしてにっこり微笑むようになれば、めいめい持つて生まれた、すばらしい仏心が慈悲のこころとしてはたらいてくるはずですよ。

以上、「立腰」の大切さについて、横田南彌管長が非常にわかりやすく書かれていました。

時々、背中を丸めて、携帯電話やスマホを操作したり、本を読んだりしている人を見かけます。楽かもしれませんが、かえって体が凝つてし

まいます。背筋を伸ばして座っているほうが本当は楽で、もちろん健康にもよいのです。

「腰骨を立てる」

「丹田に力を込める」

「長い息をする」

これらを実行して「元氣・根性・粘り強さ」を養い、イナテックの企業理念を深めます。そして、気持ちよく「相互啓発」できる、いい会社をめざします。

皆さんよろしくお願いたします。

#### 四〇

袈裟行中、着一藜杖的山人、便増一段高風。漁樵路上、着一袈衣的朝士、轉添許多俗氣。固知、濃不勝淡、俗不如雅也。

「袈裟」の行中、一の藜杖の山人を着くれば、便ち一段の高風を増す。漁樵の路上、一の袈衣の朝士を着くれば、転た許多の俗氣を添う。固に知る、濃は淡に勝らず、俗は雅に如かざるを。

一 袈裟——高位高官。「藜」は高位高官の礼服。「星」は、同じく礼帽。また、その人達。二 藜杖の山人——あかざの杖をついた隠士。三 袈衣の朝士——礼服を着た役人。四 許多の——多くの。

高位高官たちの行列の中に、一人のあかざの杖をつく隠士を交えると、それで一段と高尚な趣を増す。(これに反し)、漁夫や木杵の往来する路上に、一人の礼服の役人を交えると、ずいぶんと俗氣を増す。してみると、華美なものは淡白なものには及ばないし、鄙俗なものは高麗なものには及ばないということが、よくわかる。



## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2016. 9  
No.277

“相互啓発型イナテック”にするには

“しかけ”が必要

下図は、安全文化の発展段階を表した「ブラドレーモデル」と呼ばれるものです。大変わかりやすく段階が示されています。イナテックが目指す姿はもちろん「相互啓発型企業」です。

この安全文化の図は品質保証でも全く同じです。先月お客様に大変ご迷惑をおかけした問題で、イナテックのレベルがよくわかりました。

結論から言えば、イナテックは「指示命令による行動」までではできるようになってきていますが、まだ「依存型」企業なのだと思います。

ただ部門間の連絡ができていなかったり、言葉が足らなかつたりした結果、誰もアクションを起さずしていいため、または個人の仕事になってしまったために重要かつ重大な問題になってしまったのです。

検査員（品質保証）の方は、もう少し自分の仕事の意義を考える、生産技術の方は製造の方々へ構造の説明をする、そのような各部門の役割を考え、「相互啓発型」にあるように「お互い注意し合い、素直に受け入れれば、必ずお客様に100%良品をお届けできる「イナテック」になります。

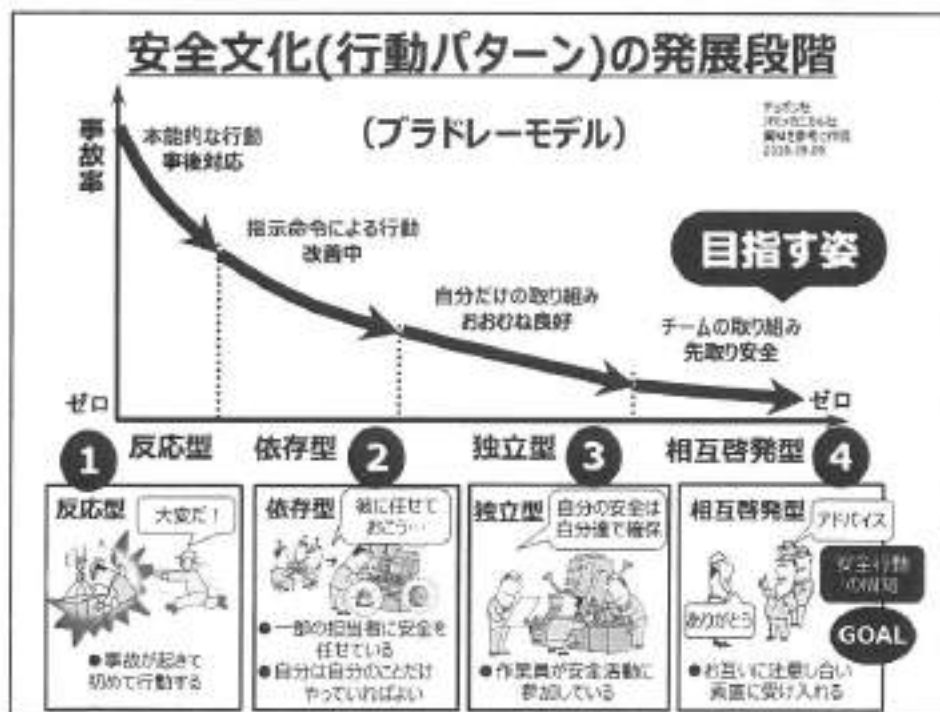
「ゼロ災継続」を可能にする6つのポイント

1. 仲間に対する働きかけ
2. 仲間との相互注意
3. 仲間への思いやり
4. 積極的な情報の共有化
5. 他人に対するケア
6. 組織に対する誇り

そして、

- ・正しいことをその場で伝達する
- ・メールに頼らず、顔と顔を合わせ、コミュニケーションを取る

- ・上司の基準が部下の最高の基準である
  - ・安全で品質がいい会社は、最高の利益を出す
- イナテックは、「相互啓発型イナテック」に向かって走り続けます。



「雑草は踏まれても諦めない」

静岡大学教授 稲垣 栄洋

人事総務課の高木淳次さんがこの講演会に出席してくれました。その時のレポートを紹介いたします。

・「雑草」は、「踏まれてもまた生きてくる」という強いイメージがあるが、実は自然界では「弱者」である。「弱者」ゆえに、生き残るための戦略をたてているのが「雑草」である。

・好環境下では雑草は他の植物には勝てない。場所を「すらすら」ことで生き残る。また、小さいカブトムシは大きいカブトムシにはかなわないが、エサをとる時間帯を「すらすら」ことで生き残る。

・ダーウィンは「強い者、賢い者が生き延びるわけではない。唯一生き残る者は、変化できる者」である」と言っている。

・踏まれるスペンシヤリスト、オオバコは、葉と茎がしなやかさと硬さを併せ持っている。また、オオバコの種は雨が降ると粘着物質を出し、それが靴やタイヤなどに付いて運ばれる。踏まれる「オオバコ」は繁殖している。

・冬の間放射状に葉を広げている雑草は、太い根に養分を蓄えて春に備えている。強い植物が花を咲かせる前に、蓄えた養分を使って花を咲かせ実を結ぶ。

・雑草には「変化する可塑性(変化する力)」がある。好環境下ではどんな植物でも長期にわたって種子生産ができるが、どんなに条件が悪い状況でも必ず花を咲かせ実を結ぶ力が雑草には備わっている。

・変化するために必要なことは「変わらないこと」と、「つまり、「花を咲かせて実を結ぶ」という目的は、その過程がどうであれ「変わらない(ブレない)」。

講演の中で「逆境こそが順境」という言葉が印象に残りました。逆境においても自分の尺度で生き残る場所を決め、弱者であっても自分から「しさ」を強みにしていくことが成功への鍵であるのではないかと思いました。

高木さん、すばらしいレポートありがとうございました。ございました。イナテックも正に今、「自分の尺度で生きる場所を決め、逆境の波に乗り、逆境を乗り越える」のだと痛感いたしました。

高木さん！ありがとうございます。

三九

蓮花被下、臥雲眠雲、保全得一高夜氣。竹葉杯中、吟風弄月、鬆離了萬丈紅塵。

一 蓮花被——あしの穂を綿代わりに入れた薄いふとん。「被」は、ふとん。夜具。ニ 一高の夜氣——一室に安眠し回復した元氣。「高」は、室。「一夜氣」は孟子の告子上に見える語で、深夜、寂然として万象が寝静まったとき、屋間の邪念は去り、精神はおのずから清らかになり和平になる。孟子はこれを夜氣といい、夜氣を存し養うことを修養法の一としていた。ニ 竹葉杯——酒の杯。「竹葉」は、酒の異名。孟浩然の詩に「漸く着る、春は芙蓉の杜に逼るを。朝に覚ゆ、寒は竹葉の杯に清ゆるを」(除夜有懷)とある。四 鬆離——身をかわし、離れ去る。

せんべいぶとんにくるまって、雪の中、雲の上の山小屋に眠ると、室中に満ちた雲気による元氣を、十分に回復し保つことができる。また、竹葉の酒杯を挙げて、清風に吟じ明月を眺めると、塵にまみれた俗世間を、すっかり抜け出ることができる。





## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2016. 8  
No.276

### イナテックはなぜ「TPM優秀賞」に 挑戦し続けるのか

イナテックが「TPM優秀賞」に挑戦し続けるのは、TPMをイナテックの文化にするためです。2016年6月時点で、2013年に、TPM優秀賞カテゴリAを受賞した事を知らない人(その時に在籍していなかった人)が、なんと45%もいるのです。

今年度「TPM優秀賞」に社員全員で挑戦するわけですが、例えば、今回優秀賞を受賞しなかったとすると、次回は90%の社員が審査を経験したことがないという状態になりかねません。

これでは、今まで築き上げた知識や経験が振り出しに戻ってしまい、一からやり直すのと同じことになってしまいます。だから、せめて3年から5年に一度は、TPM優秀賞に挑戦しよう。そうすることによってTPMがイナテックの空気、つまり文化になるわけです。

「TPM優秀賞に挑戦し続けるのは」すべてのイナテック社員が協力して、TPM的な考え方で企業体質を変えることが狙いだということを、もう一度胸に刻みましょ。

### デュボン株式会社の企業理念 「200年続く安全文化」

AW様の安全大会に参加させていただきました。松野副社長様は、安全宣言の中で次の3項目を明言されました。

- ・すべての災害は防ぐことが出来る
  - ・管理者の率先垂範によるリーダーシップ
  - ・全員参加の明るいコミュニケーションによる自分と仲間の身を守る安全行動
- イナテックもAW様の優良仕入先として、災害のない会社を目指します。

安全大会では、デュボン株式会社の津田事業部長様の講演を拝聴しました。大変印象に残ったので、ご紹介いたします。

デュボン社が黒色火薬を扱っていた時代、大薬の爆発により、1815年に9名、1818年に30名死亡という痛ましい災害がありました。その後、「全てのケガは防ぐことができる」と宣言し、1818年から約200年死亡災害がないという、「安全文化」を築きました。

ゼロ災継続を可能にするポイントは、

- ・仲間に対する働きかけ
  - ・仲間との相互注意
  - ・仲間への思いやり
  - ・積極的な情報の共有化
  - ・他人に対するケア
  - ・組織に対する誇り
- です。また、
- ・正しいことを、その場で伝達すること
  - ・Eメールに頼らず、顔と顔を合わせてコミュニケーションをとること
  - ・通常範囲以外(フライベイト)でも部下・仲間と安全の関与をすること

も大切です。

「イナテックの企業理念で伝えていることと重なるものが多いです」

津田様は、「これらをすべて理解した」「上司の安全基準」が「部下にとつての安全の最高基準」であることはつきりおっしゃいました。上司の危険を見つめる目が低くなれば、部下はそれに倣って低くなる。だから上司は常にマンネリ化を防ぎ、危険を見つめる感度を上げる文字が必要があります。

また、デュボン社の「しきたり」には、

・指摘を受けたら「ありがとう」と感謝し、すぐに改善する（指摘はギフトです）

・ケガや事故は報告の義務があり、すぐに報告を共有し、同じ目（ケガ・事故）に合わないようには正す

というものがあります。

（「ここにもイナテックの企業理念に出てくるフレーズがあります」）

津田様は、「安全文化」を徹底し、社員や地域の方々のゼロ災害を継続している会社は、どの

会社も高収益を上げています」と締めくくりました。

すばらしい「安全文化」です。

イナテックの企業理念もデュボン社と通じるどころがあり、決して間違っていないと確信しました。

しかし、デュボン社はこれらを徹底しているのに対し、イナテックはまだ「たわりの足りません」。この講演のおかげで、気づかせていただきました。

我々もTPMを徹底し、イナテック企業理念を実行することによって「もっといい会社」を目指します。

### 三八

時常喧嘩、則平日所記憶者、皆漫然忘去。境在清寧、則夙昔所遺忘者、又怱爾現前。可見、靜躁稍分、昏明頓異也。

騒がしくごたごたしている時には、（のぼせあがっていて）、ふだんに記憶していることまで、皆うっかりと忘れてしまう。（これに反し）、さっぱりして安らかな環境にいる時には、（記憶の糸口を静かにたどって）、昔、忘れていたことまで、またありありと目前に思い出すものである。してみると、環境が静かであるか騒がしいかの、ほんのわずかな分かれで、記憶がぼんやりしたり、はっきりしたりすることが、大変に違うことがわかる。

最後に、デュボン社のこんなエピソードを紹介します。

ある休日、デュボン社会長夫人が両手に買い物袋を持って階段を昇降していました。それを見かけた社員が注意をしました。「階段を昇降する時は手すりをもたないと危ないですよ。」注意を受けた会長夫人は、「こんな注意を頂きました。ありがとう。」と全社員にメールでお礼をしました。

これは、事故を起こさないという信念、お互いに対する思いやり、普段からのコミュニケーション、……など社員への安全教育が徹底されているからこそできる行動です。

イナテックの社員もできます！

## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2016. 7  
No.275

### “株式会社イナテック鳥取”竣工

皆さんの努力のお蔭で、イナテック鳥取が操業開始いたしました。イナテックグループの中で本格的な生産拠点としては、中国浙江省の「イナテック平湖」に次ぐものです。

イナテック平湖を無事立ち上げていただいた自信が、イナテック鳥取の設立を決断した理由の一つでもあります。

6月17日の竣工式には、鳥取県平井知事をはじめ、鳥取市深澤市長他、鳥取各地の皆様、愛知県からは常日頃お世話になっている皆様にご列席いただきました。合わせて110名の方々にお越しいただきました。その時の挨拶を抜粋して記します。

「イナテック鳥取は、この地域における製造拠点としてだけでなく、アイシンAW様に安定して製品を納入し続けるためのBCP、つまり、事業継続計画拠点としての役割も担っております。」

二宮尊徳は「人間が働くのは、ただ自分のために働くのではなく、周りの人のために働かねばならぬ」と報徳の理念を説いています。

それにならない、イナテック鳥取の使命は、「お客様に100%の良品をお届けして喜んでいただくこと」です。

私たちは日々の仕事を通して人間性や技術力を高め、より良い製品を作る企業を目指します。そしてお客様にはもちろん、地域の皆様、社員のご家族様にも喜んでいただき、地域の優良企業をめざし、雇用と地域の発展に貢献したいと思っています。」

また、披露宴でも

「二宮尊徳は、『国を豊かにするには、食糧を節約するという考え方はなく、農業を奨励して米を増産する前向きな考え方で行うべきだ』と言われました。労働力を増やせば土地が開け、農産物も増える。農産物が増えれば、商

業も工業も盛んになる。つまり、『たくさん食へて一生懸命働けば、国が豊かになる』ということですね。」

という挨拶をさせていただきました。

イナテック鳥取を設立したおかげで、「人財」の確保や土地の取得に悩む事はなくなりました。これからは、じっくりと腰をすえて経営戦略を立て、「人財」育成と技術向上に力を注ぎ、実を残すことだと思っています。

イナテック100周年(2051年)を目指し、2051年からの101年目以降のためにも、今から基盤のしっかりしたイナテックを育成してまいります。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

### 第23回イナテック安全大会

平成28年度の全国安全週間のスローガンは、「見えますか？」

あなたのまわりの見えない危険  
みんなで見つける安全管理」  
です。

今回の講話でも「安全とTPM」の関係について説明させていただきました。

TPMの目的は、

・製造設備に強い人づくり

・製品に強い人づくり

です。

事務間接の人たちも製造設備に製品に強くなつてください。

全ての人たちが製造設備に強くなれば、災害は起こらないはずですが、我々の最優先事項は「絶対に災害を起こさない、起こさせない」とことです。

また、「故障」とは、「故意に、障害」を起こすこと、つまり、設備は勝手に壊れないのです。故障は人が発生させているということです。その証拠に、故障の90%は、「強制劣化」というデータがあります。この故障という変化点で労働災害は起さるのです。

AW様の「安全レシジョン」には、

「トップの率先垂範で、全ての災害は防ぐことができる」と掲げられています。

「トップ」とはもちろん社長の「ご自身」、組織の長もトップなのです。常務、部長、課長、係

長、班長、サークルリーダー、組合委員長、評議員さん、すべて「Yes」言う、「トップ」なので

「絶対」に災害を起こさない、起こさせない「覚悟」が必要です。

「見て見ぬふりはダメ！」

みんなで注意し合い、イナテック企業理念のいき届いた、災害のない会社にしよう、ヨシ！

### 三七

山林は勝地、一盤懸、便成市朝。書畫是雅事、一食癡、便成商賈。蒸心無染着、欲界是仙都。心有係戀、樂境成苦海矣。

山林はもと、隠棲する地としてすぐれたところではあるが、そこに一度とりこになつてしまつと、(いろいろと設備に凝り出したりして)、町なかに住むのと全く変わらなくなる。また、書畫はもと、鑑賞する物としてみやびやかなことではあるが、それを一度むさぼり出すと、(掘出し物をしよりなど)、骨董屋と全く変わらなくなる。思うに、心に執着するところがなければ、この俗世間もそのまま仙郷となるが、心に愛着するものがあると、安樂郷もたちまち苦海となる。



## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2016. 6  
No.274

### A/W協力会 会長挨拶

私は、A/W協力会の会長を仰せつかっております。先日開催された定期総会で、お客様でいらつしやるA/W様を前に、挨拶をさせて頂いたいただきました。このあいさつに込めた思いは、イナテック社員の皆様に対しても同じです。

総会に先立ちまして、この度の熊本地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。救援や復興支援などの活動に尽力されている方々に深く敬意を表しますとともに、被災地域の日も早い復興をお祈りいたします。去る4月13日、A/W様調達方針説明会で、2016年度は将来を担うA/T7機種の上

ち上げ、また過去最高の生産台数の計画についてお話がありました。

その中でも「安全ビジョン」についてはA/W協力会としても「トシブの率先垂範で全ての災害は防ぐことができる」と覚悟を決め、安全最優先の考え方を徹底して参ります。

松下幸之助氏も、「かつてない困難からは、かつてない革新が生まれ、かつてない革新からは、かつてない飛躍が生まれる」とおっしゃっていました。

我々A/W協力会も、かつてない生産台数の計画に向けて努力し、かつてない飛躍を遂げたいと思います。

今後は安全を最優先に、もちろん高品質を確保しながら頑張っていく決意であります。

### 稲垣汽车配件(平湖)有限公司5周年 挨拶

イナテック平湖の創業5周年式典は、司会もダンスも社員の皆さんの手づくりで素晴らしい祝宴でした。社外のメイクさんや衣装さんも、

こんな雰囲気の良い会社は今までみたことがない、とおっしゃっていただけです。

その時の私(董事長)の挨拶を紹介します。

イナテック平湖創立5周年おめでとうござい  
ます。

ここまでこられたのも、平湖社員の皆様の努力のお蔭だと感謝しております。

また創業した5年前、当時の新家総経理をはじめ渡辺製造部長、島居技術部長他、日本人スタッフの方々と、袁部長をはじめとした中国人スタッフの方々のご苦労があつてこそ今日でございます。

イナテック平湖は、お客様から品質優秀賞をいただき、大変評価をいただいております。これもイナテック平湖のここにいらつしやる皆様の努力の証です。本当にありがとうございます。これから中国でイナテック平湖が生き残っていくには、お客様の大幅な原価低減の要求に応えていかなくてはなりません。

しかし皆で協力し合えば、アイシンA/W様が求める「大幅な原価低減」そして「高品質な製品」が両立でき、日本の企業にも勝てる「確信」しております。

世界のパナソニック創業者の松下幸之助さんは、かつてない困難からは、かつてない革新が生まれ、かつてない革新からは、かつてない飛躍が生まれるという言葉を残しました。

TPMを通して、ここにいらつしやる皆さんの技術を向上させて益々飛躍しましょう。

このようにイナテック平湖が発展することそのものが、この地域への社会貢献に繋がっています。みんな仲良く、安全第一、品質最優先で頑張ります。

本日は創業5周年おめでとございます。

イナテック平湖は、平湖市開発局より2015年度の雇用・安定最優秀賞をいただきました。

中国の一般会社の離職率は10〜15%ですが、イナテック平湖の離職率の実績は1.8%でした。

イナテック平湖の社員が皆仲良く協力し合っていて、会社の雰囲気も良いという証拠です。これはイナテックグループとして喜ばしいことです。

本社も鳥取もグループ全社が良い雰囲気になるよう頑張ります。

### 沖繩・東海 外洋ヨットレース 優勝

この外洋ヨットレースは、日本のヨットレースの中で一番距離の長いレースです。その距離なんと720マイル(約1133キロ)。これを5日間かけて競います。

この優勝は、我々ヨットチームのオーナーやクルーの仲間、そして陸上での贈送や沖繩まで回航していただいた方々のご協力のお蔭と感謝いたしております。

ヨットレースに参加する船員は10名。24時間を3交代(睡眠3時間、デッキ6時間)で操船し、5日間風だけでゴールを目指すものです。200食の食糧を搭載し、飲料水も十分積んで航海します。チームワークの良さ、また夜間の操船が勝負の鍵になります。

今回のチームはとても雰囲気が良く、夜の走りも常に気を抜く事なく、全てにベストを尽く

しました。

「このヨットレース前の安全講習会で学んだ」とは、第一に「自分の命は自分で守れ」ということです。そして、事故を起こさないポイントが「腕を磨くこと」であり、それが最大の安全だということでした。

これは仕事においても同じです。仕事の内容を熟知し、常に訓練することが自分の命(仕事)を守ることであり、家族や会社、社会に迷惑をかけることにつながる、ということを感じました。

このような外洋ヨットレースに参加できるのも、常日頃イナテック社員の皆さんが会社を守ってくれたからだと感謝いたします。また、これはまさに家族の理解があつてこそその事のできると思います。

本当にありがとうございます。

### 三六

水流而境無聲、得處喧寂之趣、山高而雲不碍、悟出入無之機。

大河は漫々たる水をたたえて流れていても、そのあたりでは水の音がしない。(この理を観ずれば、騒がしい所で静かさを見出す妙趣を会得するであらう。また、高山はいかに高くそびえていても、白雲の去来するのをさまたげない。(この理を観ずれば)、有心の域を越えて無心の境に入る妙機を悟るであらう。



## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2016. 5  
No.273

### 2016年度新入社員、入社おめでとう

4月1日より新入社員17名が入社してくれました。イナテック100周年の2015年には50代半ばになっている方々で、まさしく100周年の中心になる社員たちです。また、今年度は鳥取県から4名入社していただきました。鳥取工場の将来を担う社員です。これから我々がいかに育てあげるかにかかっています。

今年度の入社式では、新入社員に対して、「与えられた仕事を一所懸命実行し、まわりの人が感動するような仕事をする」

そして、「失敗にめげずチャレンジする。失敗は成長への葉なのだ」

ということをお話ししました。

さらに次のようなメッセージを送りました。

### 素直な人が伸びる

成功しない人の四条件

- 一、言われた事しかしない人
- 二、楽をして仕事をしようとする人
- 三、続かないという性格を直さない人
- 四、すぐに不貞腐れる人

人間は趣味では絶対に人格は磨かれない

人間の人格は、仕事に打ち込む中で磨かれていく

新入社員諸君、いっしょに「もっといい会社」にしよう！

### 株式会社イナテックサービス 特例子会社への思い

イナテックサービスは、4月1日付けで障がい者雇用促進法に基づく特例子会社として、西尾市で初めて(県内では17番目)認定を受け、13日に西尾公共職業安定所長より決定通知書を授与されました。

### 設立経緯

私は日頃から、株式会社イナテックがお世話になっている地域社会に対して、何らかの形で恩返しできる会社になりたいという思いで経営してきました。

株式会社イナテックサービスを設立したのは、障がいを持っている方の働ける職場を提供することで、地域社会に貢献したいと考えたからです。

障がい者がそうでない人に比べて就職が難しいのは、障がいのせいではなく、働ける場所がないからだと気がつきました。働く場所を与えられた人は、働きながら成長していきます。人の可能性には限りがありません。

こうした思いもあり、ハローワーク西尾に障がい者の雇用について相談したところ、特例子会社の提案、援助をいただき、厚生労働省より特例子会社の認定を受けることができました。

今後は、障がい者が活躍できる職場づくりにより一層取り組んで参ります。

### 設立目的

障がいやハンディキャップを抱えながらも、

それらを克服しようとして懸命に頑張っている人のために、働きやすい職場環境・人的環境を与えることは社会的役割です。

その役割を果たすために、安定した仕事の供給をすることも、障がい者の方々の職場的自立のために設立しました。

ノーマライゼーションの福祉理念を社会に向けて発信します。

（ノーマライゼーション・・・障がい者の生活状態が健常者の生活状態と同じであることは、障がい者の権利である。障がい者は可能な限り同じ条件のもとにおかれるべきであり、そのような状況を実現するための生活条件の改善が必要である、とする考え）

### 使命

お客様や地域の方々を明るく照らす『灯り』となつて真心でサービスをお届けし社会に貢献します。

### スローガン

皆の笑顔がたえない会社  
笑顔でサービスする会社  
笑顔で笑顔をプレゼントします。

イナテックサービスでは知的・精神・身体障がいのある社員の皆さんが、清掃や配膳、ゼロエミツシジョンに向けての資源分別などを業務としてしています。

障がい者雇用率という数字だけでなく、障がい者の人たちの特性を理解した職場をつくること

が大切です。  
今後も障がい者雇用の促進のため、一歩ずつ活動してまいりますので、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

### 三五

禅宗に曰く、「<sup>1</sup>餓え来たりて飯を喫し、<sup>2</sup>倦み来たりて眠る」と。詩旨に曰く、「<sup>3</sup>眼前の畏致、<sup>4</sup>口頭の語」と。蓋し<sup>5</sup>極高は極平に寓し、<sup>6</sup>至難は至易に出で、<sup>7</sup>有意の者は反って遠く、<sup>8</sup>無心の者は自

挿の極意を説いて言う、「腹がへれば飯を食ひ、腹がくちくなれば眠る」と。また、詩の極致を説いて言う、「ただ目前の景色を写し、ふだん用いる言葉で述べる」と。思うに、（挿において）最も高遠な道は、最も平凡なことの中に宿っており、最も至難な理は、最も平易なことの中から出てくる。また、（詩において）、ことさらに意を用いたものは、反って真実に遠ざかり、無心なものが、反って自然と真実に近いものである。



4月13日 西尾公共職業安定所にて認定書を受け取る  
大橋部長 稲垣副社長 稲垣社長 林資典所長  
株式会社イナテックサービス 公共職業安定所



## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2016. 4  
No.272

### 在庫低減と内製化

先月の日経新聞「私の履歴書」は、アイリスオーヤマの大山社長でした。その文章の中には、イナテックが今、意識改革を進めようとしていることと同じような内容が書かれています。

「欠品を避けるために在庫をたくさん持てば、経営を圧迫する。」

「作ったものを売るのはなく、売れたものを迅速に作るのだ。」

「好不況に関わらず利益を出す会社」

「できることは自前で手がけ、経験を社内に蓄積すべし」

このような記事が私の心に響きました。先月紹介したT・P・Mの渡辺先生のアドバイスを思い出しました。T・P・Mの究極の姿です。

「予知・予測が出来、予防保全ができれば、故障ゼロ、工程内不良ゼロが実現できる。そうすれば、予備在庫はゼロが当たり前になる。」  
私の頭は非常にすっきりいたしました。

「よし、在庫ゼロは夢じゃないんだ。実行あるのみ。」

例えば試作について言えば、在庫ゼロの状態です。試作品を作り、お客様に納めます。重要になるのは、注文があつてから、いかに短いリードタイムでお客様の要求される納期に応えられるか、ということなのです。

今現在、貯蔵品(刃具・治具・消耗品など)は2億6000万円あるのが現状です。問題は昨年5月の期首より2200万円増えていることです。「予知・予測・予防保全」の徹底で、すぐに使わない貯蔵品在庫を「ゼロ」にしようではありませんか。

次に内製化です。内製化によりノウハウの蓄積はできますし、問題点も見えてきます。また何よりも「ものづくり技術」が向上します。

加工点に関わる刃具・治具・クーラント・測定具の内製化を目指してまいります。まさしくアイリスオーヤマの社長のおっしゃる「好不況に関わらず利益を出す」イナテックグループを構築いたします。

### ぞうきんになれ

「社会のぞうきんになって社会をきれいにしなさい」

「自ら汚れてでも社会をきれいにする」

「障がいがあるとうと貧しかろうと弱者は一人一人が国の宝です」

これは日経新聞「交遊抄」に載った山井和則氏の文章です。

イナテックも「おそうじ」を企業理念の一つとしております。おそうじを通して自分を磨き、まわりの人にも気遣える会社をめざしております。この「ぞうきんの教え」は、自らが汚れて会社を、社会をきれいにする。こそそのものではないかと思えます。

やはりイナテックの企業理念のとおりなのです。さあ、自信を持って実践していきましょう。

## 『老師から見た日中企業の差』 第2弾

2月に続き、イナテック平湖の表部長の報告をご紹介します。

### ● 中国企業経営に関する反省

#### ● 経営目的の差

中国大半の企業は、主業で成功した後すぐに多角化経営を行う。(不動産投資、証券投資など)中国企業は儲けを目的としているのに対し、日本企業は事業を行うことを目的としている。

#### ● 技術への理解の差

中国企業にとつて、技術は最新鋭設備。最新鋭設備に大金をかけても惜しまないが、技術者の育成にお金をかけたがらない。まして全員に教育する会社はごくわずかである。

#### ● スピードへの理解の差

中国人は早くて大きな躍進を追求し、結果をすぐに求める。日本人は保守的に見えるが、本当は慎重でコツコツ、プロ意識が高くまじめである。

中国の人たちがこのような研究をしているという事は、近い将来必ず日本の経営に迫っていくはずだ。その証拠にイナテック平湖の社員の人たちは、日本の経営を学び実行しています。

私たちはお互いの国民性を理解し合いながら、日中の発展に貢献いたします。

悠長之趣、不得於醴醴、而得於變菽飲水。惘悵之懷、不生於枯寂、而生於品竹調絲。固知、濃處味常短、淡中趣獨真也。

### 三四

一 醴醴——醴い酒。「醴」は醴い酒。「醴」は酢の味の濃い意。二 菽を變り水を飲む——豆のかゆを十ナリ。水を飲む。貧しい暮らしにいう。「菽」は豆。礼記に「子路曰く、儂まじいかな貧や、生きては以て養をなすことなく、死しては以て礼をなすことなきなり」と。孔子曰く、菽を變り水を飲んで、その飲を厭くす、これをこれ幸と謂う、と(禮記下)とあり、菽水の飲ともいふ。三 惘悵の懷——惘悵しむ思ひ。ここでは、ものあわれを感じる意。白楽天の詩に「惘悵す、春舟りて留むるを得ざるを。紫藤の花下、漸くにして黄昏なり(三月三十日歸隱感事)とある。四 竹を品し糸を調ぶ——笛を吹き琴の糸の調子を調える。素朴な音色にいう。

心ゆく悠長な趣きは、味の濃い美酒を飲んでいる(富める暮らし)の中からは得られないで、むしろ豆のかゆをすすり水を飲む(貧しい暮らし)の中から生まれるものである。また、ものあわれを感じるのは、干からびた静けさの中からは生まれなくて、むしろ笛を吹き糸を調える素朴な音色から生まれるものである。これから見ても、濃厚な味わいは、常に長く続くものではなくして、ただ淡白な味わいの中に見られる趣きだけが、真実なものであることがわかる。

### 「TPMドットコム」

今月は日本能率協会コンサルティングの機関紙「TPMドットコム」に載った記事を同封いたしました。実はイナテックという会社は、このように評価いただいた会社なのです。また、やりたらないことはたくさんありますが、2017年TPM特別賞継続賞に向かって全員参加で頑張り、自身自身を磨いてください。よろしくお願いたします。常日頃に感謝です。



## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2016. 3  
No.271

見えてきた！TPMパートIIの目指す姿

— 予備品在庫ゼロ —

2017年にTPM優秀継続賞受賞を目指して活動に拍車をかけている最中で、皆さんも頑張っていたとき、ありがとうございます。

山田先生のご指導のもと、今回のキーワードである『ダントツ』『未然防止』『予防・予知・予測』『プロ化』を目指しています。結果として、『故障ゼロ』『不良ゼロ』の達成につながります。

私も毎日2S点検で現場を巡回し、皆さんと議論をさせていたたいと思っています。そのなかで『予備品在庫』が「こんなにたくさんあつていいものだろうか」と悩むことがありました。しかし、当社の山本執行役員がTPM研究会に参加し

た際、J-TPM(日本プラントメンテナンス協会)の渡辺先生より「予備品在庫は『ゼロ』が目標です」と明解な回答をいただきました。

「故障ゼロ」ならば『未然防止』『予防・予知・予測』ができていなければならず、故障寸前に部品のリードタイムに合わせて購入、もしくは内製すれば良いわけです。「品質不良ゼロ」ももちろんです。

目標は「故障ゼロ」「品質不良ゼロ」をただ達成するのではなく、「予備品ゼロ」をも合わせて達成することが、イナテックの企業体質を強化させるのです。「故障」「不良」が減っても、「予備品在庫」がゼロに向かって減っていないということは、『未然防止』『予防・予知・予測』ができていないということです。つまり、活動のアプローチが全然違ってくるのです。

「故障ゼロ」「品質不良ゼロ」を目指し『予備品在庫ゼロ』を達成しましょう。これぞ『ダントツ』のイナテックです。

イナテックのすべいところ

— 継続は力なり —

① 地域の方々に年1回工場見学と懇親会を開催(1990年から26回)

鳥羽町(十一番組)内の方々にイナテックの考え方とものづくりについてご紹介する見学会です。

② 幅豆3校に「イナテック図書」を寄贈  
(1990年から26回)

現在では8,000冊の立派な図書館になりました。幅豆の子供さんに「いい本」を読んでもい人になっていただきたいという願いがあります。

③ イナガキ・コスミックギャラリーの開催

1990年から開催し、今年1月に100回目を迎えました。地域の皆様や社員の皆さんに本物の芸術を楽しんでいただいています。

④ 「赤札大作戦」

1999年3月より開始、現在の2S活動の原点です。

⑤ トイレ掃除

イエローハットの健山会長よりご指導をいただき、2001年よりトイレ掃除を始めました。現在では新入社員の日課となっています。

⑧P.M活動

2006年より開始いたしました。イナテック100周年に向けて継続いたします。

⑦「社員の皆様へのメッセージ」の発行

1993年9月から月1回書かせていただき、今回で27回1回目になりました。今では社長のライフワークの一つです。これからもよろしくお願いたします。

このようにイナテックには「継続」という素晴らしい文化があります。これはオーナー会社だからこそできることかもしれませんが、継続することによって社員の皆さんに「力」が付き、成長していただくことを切に願っています。ありがとうございました。

清水昭子さんありがとう

木鶏同好会での清水昭子さんの感想文を紹介させていただきます。お父様を亡くされ深い悲しみにくれていましたが、立ち直り元気になられたということですよ。

致知一二月号より

テーマ「人生はあなたに絶望していない」

仲間の発表を聞いて気づいたこと

清水昭子

「普通に生活していると、それが当たり前になり、不自由のない生活に感謝する事が薄れていくな」と、黄さん、深谷智之さんの感想を聞いて思いました。世の中には色々な人がいて、その中で自分が普通に生きている事が、とても幸せな事なんだと改めて思いました。

「仕事で失敗するとそれが苦手となり、嫌なことと決めつけず、もう一度やってみよう」と前向きな気持ちが大切だ」と、花巻さんの感想を聞いて思いました。

三三

孤雲出岫、去留一無所係。朗鏡懸空、靜躁兩不相干。

孤雲、岫を出づる、去留、一も係るところなし。朗鏡、空に懸る、靜躁、両つながら相干さず。

一 孤雲岫を出づ——一ひらの白雲が岫(山のいわ穴)から出る。無心なさまにいう。陶淵明の擲去來辭に「雲は無心にして以て岫を出で、鳥は飛ぶに隨んで遡るを知る」とある。二 朗鏡——朗月。明月。三 干さず——關係がない。「干」は、干渉の意。

一ひらの白雲が静かに山の洞穴から出ると、(全く無心なようすで)、去るも止まるも、少しもとらわれることがない。また、明月が空にかかる、(くまなく下界を照らして)、下界の静かさも騒がしさも、双方ともに關係がない。

今回のフリートークで、自分のストレス解消

法について話をしましたが、仲間には仕事の悩みを打ち明けたり、嫌な事は友達にグチつたりして、皆さん「話す」事を大切にされています。

悩みを話すことは、恥ずかしい事ではないし、何でも言い合える信頼関係を今の仲間と作る努力をします。

清水昭子さんありがとう。

こんなすばらしいイナテック木鶏同好会です。是非皆さん誘い合って参加しましょう。目指そう全員参加!



## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2016. 2  
No.270

### 稲垣邦松会長 優秀創業者賞受賞

このたびは邦松会長が日刊工業新聞社主催の第33回優秀経営者顕彰「優秀創業者賞」を受賞いたしました。

この制度は、優れた経営手腕により企業を成長させ、日本経済の発展と地域社会に大きく貢献したモノづくり関連の中堅・中小企業経営者を広く顕彰するものです。

#### 《受賞の理由》

一九五一年に創業した後、自動車部品であるトランスミッションの中枢部分となる歯車の精密切削加工業者として成長させた。

工場移転新築や年商の二分の一を投入した生産設備投資などを行い、顧客の増産に素早く対応し、信頼を得てきた。

また地域の青少年の創造性開発育成にも大きく貢献してきた。会長となった今もほぼ毎日出社し、社に貢献している。

邦松会長、お身体に気をつけて、お元気で長生きしてください。そして、これからも我々を見守っていただきたいと思えます。邦松会長の創業があつての現在のイナテックがあることに感謝申し上げます。

### イナガキ・コスミックギャラリーの個展 100回達成

今回の長谷川先生の作品で、平成2年から始めた個展も100回目を迎えることができました。その時にさせていたたいたあいさつを紹介いたします。

深谷工務所の深谷社長様のご紹介で高北先生にお世話になり、また、芸術家の方々に出品

していただいたおかげで100回まで続けられました。

「継続は力なり」と言いますが、26年間開催できたのも皆様のおかげです。今後も芸術・文化の普及と向上に努め、『西尾の南の方に行く』とセンスがいいなあ』と言われるよう、力の続く限りやつていきます。多くのアーティストの方々に思う存分このギャラリーを使って表現していただき、西尾のみなさんに本物の芸術に触られる。そして出会える機会をつくっていきます。

また、高北先生からは「99回までやると、続けていくことの力が湧き、100回を迎え気持ちが良い。今回は100回目にふさわしい作家、長谷川先生にお願いした。街並みの作品に囲まれたこのギャラリーに一人だけいると、誰もがこの描かれた街並みの風景の中にいると感じると思う。まさに作家のパワーでギャラリーが埋められた展示になっている。美術王道ともいえるべき『長谷川洋画展』です。」というお言葉をいただきました。

皆様に感謝です。

## 『老舗から見た日中企業の差』

イナテック平湖の表部長から『老舗から見た日中企業の差』という、中国の人が考察した記事について、報告をいただきました。その一部をまとめて紹介いたします。

なぜ多くの中国企業は早く破綻するか。

中国の中小企業の平均寿命は2.5年、グループ企業の平均寿命は7〜8年であるのに対して、欧米企業の平均寿命は40年、日本企業の平均寿命は58年であり、天地の差である。

東京商工研究機構のデータによると、日本には1000年を超える企業は2万1666社もある。それに対し、現在中国に150年を超える老舗は、わずから社しかない。

日本の産業構造を支えているのは、専門性が高く、歴史が長い優良中小企業である。これらの企業は従業員が100名未満の企業が多いが、大企業に高品質の部品や原材料を提供している。また、多くの中小企業は世界市場の特定技術や中間製品のシェアを高く占めている。

日本の企業が長く続く原因はたくさんあるが、まず投資の戦略性が挙げられる。中長期

戦略に基づく投資及び利益の回収を重んじることである。

また日本企業は家族企業であり、社員の利益を重視する。それに対し、欧米では株主利益を重視する。日本企業の利回りは欧米企業ほど高くないが、長く利益を出し続けることは強みである。……(続く)

このように中国企業の人たちも日本企業を研究し始めていることがうかがえます。

### 三三

嗜寂者、観白雲幽石而過玄、塵榮者、見清歌妙舞而忘倦。唯自得之士、無喧寂、無榮枯、無住非自適之天。

我を嗜む者は、白雲幽石を眺て玄に通じ、榮に趨る者は、清歌妙舞を見て倦むを忘る。唯だ自得の士のみは、喧寂なく、榮枯なく、往くとして自適の天にあらざるはなし。

一 白雲幽石——白雲とものしずかな石。山林の情景を描写するによく用いられる。謝靈運の詩に「白雲 幽石を抱き、綠篠、清澗に纏ぶ」(過始寧墅)と。また樂府詩にも「重巖に我下居す、鳥道 人迹を絶つ、懸巖 何のある所ぞ、白雲 幽石を抱く」などある。二 清歌妙舞——清らかな歌とたえなる舞。劉延之の詩に「公子玉珩 芳樹の下、清歌妙舞す 落花生(代悲白頭翁)とある。三 自適の天——おのが心にかかなる天地。

静寂を好む者は、(山林に逃れて)、白雲や幽石に見入って玄妙な道にひたることを楽しむし、榮華にはしるものは、(はなやかな所に行つて)、清らかな歌やたえなる舞に見とれて飽きること知らない。ただ道を体得した人だけは、環境の騒がしさや静かさに関係せず、また時世の榮枯盛衰にも関係なく、いつでもどこへ身を置いて、わが心に適した自在の天地でないところはない。

今年イナテックは65周年、イナテック平湖は50周年を迎えます。表部長も「イナテック平湖を100年企業にするべく頑張ります」と言っています。

両社とも100年企業を目指して頑張ります。日中皆様のご協力をお願いいたします。

『いい会社をつくらう』



## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2016. 1  
No.269

新年あけましておめでとようございませう

今年も宜しくお願いたします。

先日、私がAW様新年交礼会で挨拶させていただきました内容を掲載いたします。常日頃の私の想いでございます。

私どもはAW様のご尽力のお蔭で当初の目標生産数に近づいており、大変感謝いたしております。

ハイレベルな生産台数に挑戦する努力は幸せになる為の手段ではなく、この努力そのものが幸せを与えてくれるものと考えております。

あのミケランジエロは、

『最大の危機は、目標が高すぎて達成できないことではなく、目標が低すぎてその低い目標を達成してしまうことだ』と言っております。

我々は高い目標を掲げ、それを達成できるように挑戦してまいります。

まさしく挑戦が人を育てることにつながるのだと思います。

また、私どもが忘れてはならないことは、常に現場に出て、『安全第一・品質最優先』ということとを線の切れたレコードのように言い続けることとであります。

これを五年、十年、二十年と言いつけると、とてつもなく大きな差になり、大きな力となつて、ますますAW様に貢献できると信じております。

昔から日本には「縁」「おかげ様」というように、相手様への感謝の言葉がたくさんあります。忘れてはならないことは、「恩返し」の気持ちです。「受けた恩は石に刻め」と言われているように、我々を育ててくれたAW様に感謝し、失敗を恐れず新しい事や、人がやらないことに挑戦し続けることがAW様の恩返しと申っております。

## 『育+スピード』

これは二〇一六年のイナテックのキーワードです。今年をどんな年にしようかと考えたとき、会社にとって何が重要になるのかを表した言葉です。

なぜ『育+スピード』なのか。

まず、人材の育成です。

昨年までに課長以上の方々には矢野先生の指導のもと、損益計算書の見方や経営分析、そして予算対実績の分析ができるようになってきました。お蔭様で皆さんも大変成長していただき、新たな職能に挑戦することができるようになりました。

そして今年の実践、つまり利益確保の年です。次なるリーダー（課長代行）を育て上げ、さらに係長さんや班長さんたちも早急に育てる必要があると実感したからです。

また、イナテック平湖では二〇一八年にTOP MカテゴリーB優秀賞の受賞を狙っています。イナテック平湖の方々への人材育成も重要ですが、お蔭様で平湖の社員の方々のスピードは大変早

く、日本の本社が負けそうなほどです。お互いに頑張らしましょう。

#### 社長塾開始

次に資本の整備です。

AW様の二〇二〇年の年間生産一千万台体制の準備は整いました。

工場用地は鳥取工場で確保し、中国イナテック平湖も地続きの土地を確保できました。後は早急に経常利益目標を必達することです。また工場用地を有効活用するために、付加価値の高い製品を受注し、再投資資金を生み出すこととします。

鳥取工場では今年から来年にかけてラインを移動し、連続稼働させ売上、利益目標を達成させます。そのためには、現在本社で研修をさせていただいている鳥取の方々を丁寧かつ早急に育成し、安全で無災害、高品質の製品を作る鳥取工場を立ち上げることが急務となります。

ですから『育ナスピード』なのです。

「育てきる」「育ちきる」の両輪に、今年はもちろん「スピード」が必要なのです。

『育ナスピード』の項でも述べましたが、本

では課長代行の方々に、イナテック平湖では部長以上の方々に対し月一回社長塾を開催します。次期リーダー育成のスピードを上げることが急務だと考えています。

今年度から私自身、教育に動き出します。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

#### 三

矜名、不若逃名、練事、何如者事聞。

名に於るは、名を逃るるの趣あるに若かず。事を練るは、何ぞ事を省くの間なるに如かん。

一 事を練る——ものごとを練達になる。二 事を省く——余計なものを減らす。三 聞——聞と同じ。のんびり。余裕があるの意。

名を世に對するのは、できるだけ名を逃れることの奥ゆかしさには及ばない。また、ものごとを練達になるよりは、できるだけ余計なことを減らすことの方が、はるかに余裕がある。

